ノーフロスト・チェストフリーザー（一般家庭用）

取扱説明書〈保証書付〉

型　式：JH68C

■お客様へ

●このたびは、NORFROST（ノーフロスト）・チェストフリーザーをお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●この「取扱説明書〈保証書付〉」は、電気冷凍庫の取扱方法、保証等について説明しています。
●安心してご使用いただくために必ずお読みいただき、末長く手元に保管してご活用ください。

■目　　次

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
●表示と意味は次のようになっています。

警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり＊物的傷害の発生が想定される内容を示します。

＊物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します

図記号の例

感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠警告

引火しやすいエーテル・ベンジン・アルコール・薬品・LPガス（ガスライター用ボンベ）などは入れないこと

貯蔵禁止

●爆発する危険があります。

ドアにぶらさがったり、乗ったりしないこと

禁　止

●フリーザーが倒れたり、手をはさんだりして、けがをすることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

絶対に分解したり修理・改造はしないこと

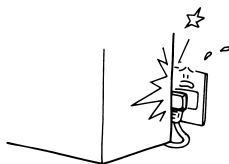
●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

定格15A以上のコンセントをフリーザー専用で使用すること

●他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火する恐れがあります。

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと

●ぬれた手では抜き差ししないでください。
●感電・ショートやけがをすることがあります。

電源プラグをフリーザーの背面で押しつけないこと

●傷つき過熱発火の恐れがあります。

製品の異常時や故障のときは、電源プラグを抜き運転を中止すること

●異常のまま運転を続けると、感電・火災の恐れがあります。

刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している電源プラグは使わないこと

●ほこりが付着している場合はよくふいてください。
●火災の原因になります。

アースを確実に取り付けること

●故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
●アース工事は必ず販売店にご相談ください。

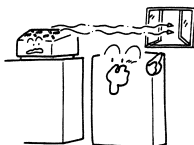
フリーザーには医薬品や学術試料は入れないこと

●家庭用フリーザーでは、温度管理の厳しいものは保存できません。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

都市ガスなどのガス漏れがあったときには、フリーザーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気をよくすること

換気する

●引火爆発し火災ややけどの原因になります。

本体各部に直接水をかけないこと

水かけ禁止

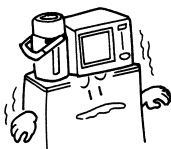
●感電・ショートすることがあります。

可熱性スプレー（ヘアスプレー・スプレー式殺虫剤など）を近くで使わないこと

使用禁止

●引火して火災の恐れがあります。

上に重量物を置かないこと

禁　止

●ドアの開閉で落下して、けがをすることがあります。

上に水を入れた容器を置かないこと

禁　止

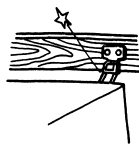
●こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電火災の恐れがあります。

フリーザーを処分するときはドアパッキンをはずすこと

パッキンはずす

●幼児が閉じこめられると危険です。

地震などによるフリーザーの転倒防止の処置をすること

転倒防止する

●振動によりフリーザーが転倒し、けがをすることがあります。

安全上のご注意（つづき）

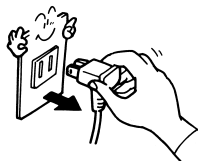
⚠注意

電源コンセントは交流100V以外では使用しないこと

100V以外禁止

●交流100V以外を使用すると火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと

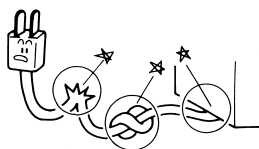
プラグを持つ

●感電やショートして発火する恐れがあります。

傷んだコードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないこと

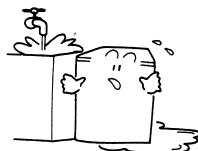
使用禁止

●感電・ショート・発火の原因になることがあります。
●電源プラグやコードが破損した場合には、危険防止のため、弊社もしくは販売店に修理を依頼してください。

電源コードを傷めないこと

傷つけ禁止

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり加工しないでください。
●コードが破損し、火災・感電の原因になることがあります。

湿気の多い所や、水のかかる所へは据えつけないこと

水気禁止

●絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

長時間ご使用にならない時は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

●絶縁劣化による感電や漏電の原因となることがあります。

冷凍室にビン類や缶類を入れないこと

ビン類禁止

●中身が凍って割れ、けがをすることがあります。

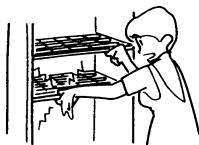
ドアを閉めるときは、取っ手を持って閉めること

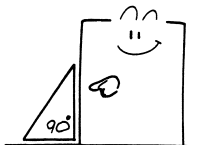
取っ手を持つ

●取っ手を持たずにドアを閉めると、指をはさんでけがをする恐れがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

フリーザーの食品や容器（金属製）には、ぬれた手で触れないこと

●低温のため凍傷になる恐れがあります。

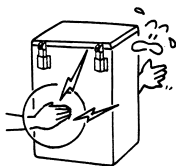
床が丈夫で水平な所に据えつけること

据付注意
●不安定な所に据えつけますと、ドアの開閉などでフリーザーが転倒してけがをする恐れがあります。

フリーザー底面には手を入れないこと

●フリーザー底面には鉄板があり、けがをする恐れがあります。

一度解凍した冷凍食品を再冷凍しないこと

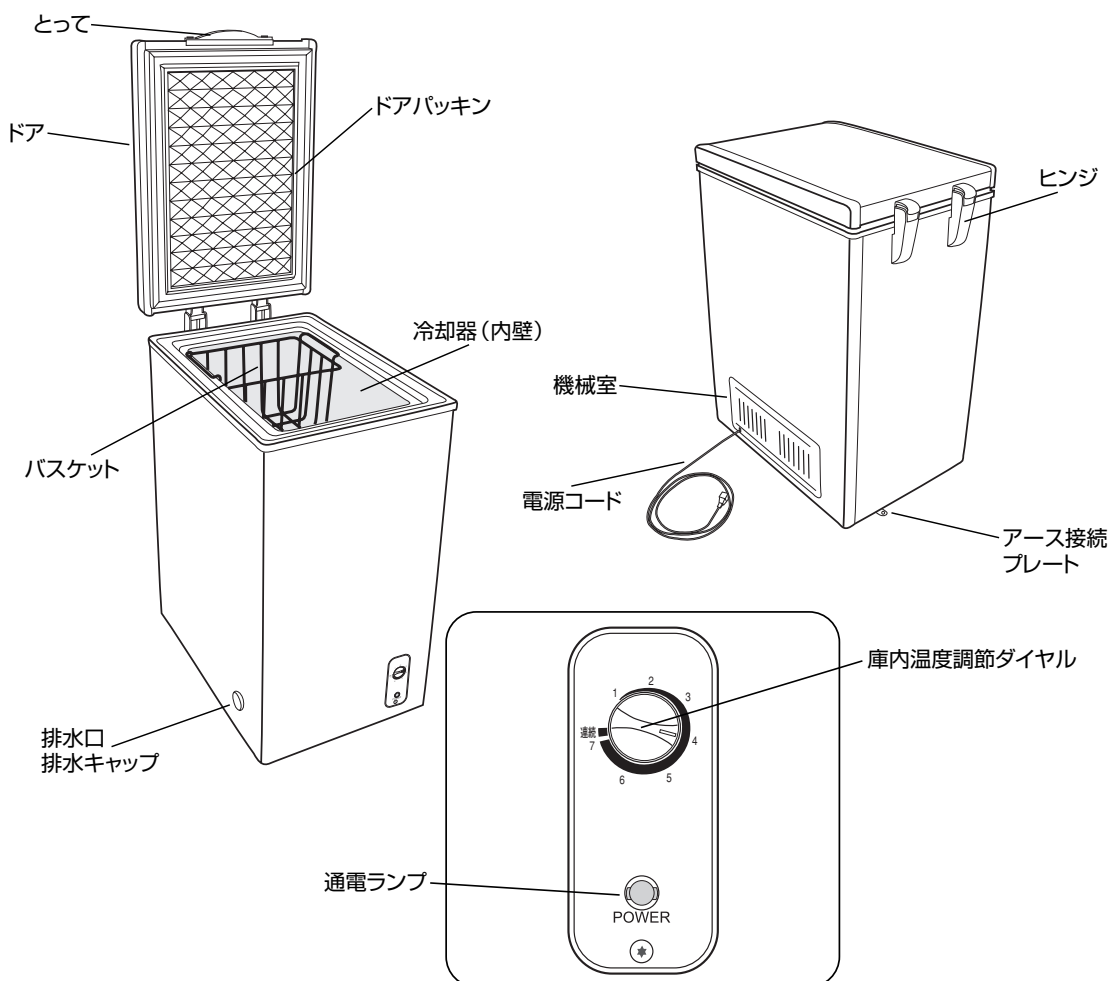
●腐敗した食品を食べると、体に害を与える恐れがあります。

背面または側面の機械室内部には手を触れないこと

●圧縮機などが高温のため、やけどやけがの恐れがあります。

この商品を他の人に売ったり、譲渡するときは、取扱説明書を添付すること

●新しい所有者が安全で正しく使うために、取扱説明書が必要です。

各部の名前と仕様

●各部の名前

●仕　様

型　　　式	JH68C
電　気　定　格	100V･50/60Hz
定格消費電力(50/60Hz)	43W
年間消費電力量(50/60Hz)	165kWh
10年省エネ基準達成率	170%
定　格　内　容　積	68L
冷　凍　性　能	✳✳✳✳（フォースター）
外 形 寸 法（㎜）	幅429･奥行664･高さ835
庫 内 寸 法（㎜）	幅298･奥行473･高さ470
本　体　重　量	28.0㎏
付　　属　　品	バスケット、ヘラ

●冷凍庫（フリーザー）の性能

●当製品は「フォースター」の能力を持っています。

●フォースターとは、定格内容積100ℓ当たり4.5㎏の試験用負荷を24時間以内で−18℃まで冷却できる能力を示します。

●フリーザーの性能は、日本工業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときのフリーザー内の冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

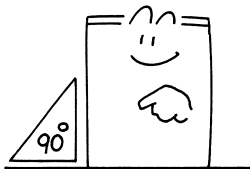
記　　号	✳✳✳✳ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	−18℃以下
冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3ヵ月

※冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類、店頭での貯蔵状態、フリーザーの使用条件などによって変わります。
上の表の期間は一応の目安です。

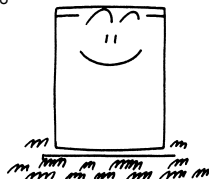
据付けについてのご注意

1

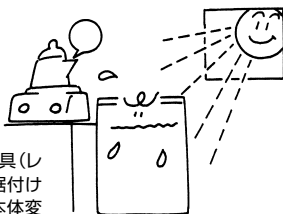
フリーザーを据付ける場所はしっかりした床で水平なところをえらんでください。

床がしっかりしていませんと音や振動が出ることがあります。
ドアの開閉などでフリーザーが転倒してけがをする恐れがあります。

2

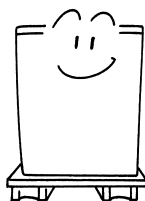
床が弱い場合やたたみ、じゅうたんのような敷物の上に据付けの際は、じょうぶな板をフリーザーの下に敷いてください。

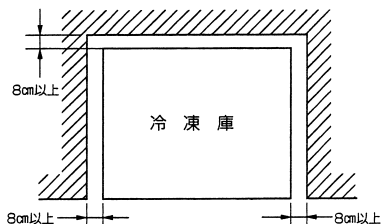
直接たたみやじゅうたんのような敷物の上に据付けますと、敷物が変色したり、カビたりすることがあります。

3

熱気の少ない所に据付けてください。

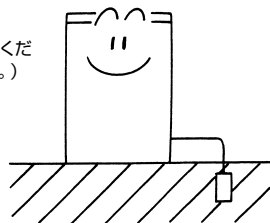
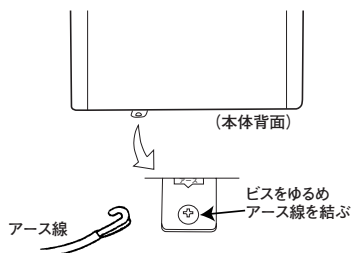
直射日光を受ける所や発熱器具（レンジ、コンロなど）の近くに据付けると、冷却力が低下したり、本体変色の原因となるおそれがあります。

4

水気・湿気の少ない所に据付けてください。

漏電やさびの原因となります。
やむをえず流し台などの近くに据え付けるときは必ずすき間をあけ、床が湿っている場合はブロックなどの上へのせてください。

5

フリーザーの周囲は下図の数値を確保してください。放熱のために必要となります。

6

感電防止のためのアースをしておいてください。

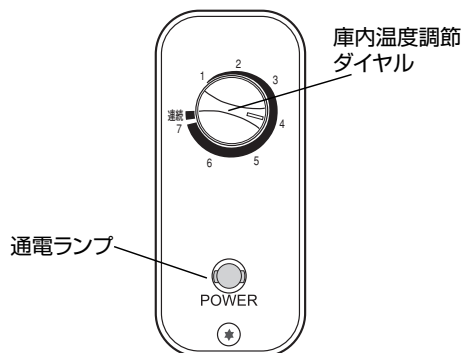
アース工事は販売店にご相談ください。（アース工事は有償です。）

●アースの取付け
- ●感電防止のためにアース（接地）をしてください。
- ●アース線は次のものには絶対に接続しないでください。
  - ＊水道管：アース（接地）できないことがあります。
  - ＊ガス管：爆発の危険があります。
  - ＊電話のアース線や避雷針：落雷のとき大きな電流が流れ危険です。
- ●常に水気のある場所に据付ける場合には、アースのほか、「漏電しゃ断器」の設置が義務付けられています。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。

フリーザーの使い方 ―――操作のしかた

■運転操作盤

●通電ランプ

- 電源プラグをコンセントに差込むとランプが点灯します。これは本体の運転にかかわらず点灯します。

●庫内温度調節ダイヤル

- 庫内温度調節ダイヤルを回し、数字の位置に合わせてください。
- ダイヤルを「4」に設定すると、市販の冷凍食品のほとんどは適温で冷凍されます。また、ダイヤルを「7」の方にすると「強冷」となります。
- フタの開閉回数や、本体の周囲温度（特に25℃を超える場所）により、ダイヤルを調節してください。
- 運転を停止させる場合には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
  また電源を再投入する際は、10分以上間をおいてください。

■ご使用の方法

1	庫内を清掃してください。

フリーザーの内箱をぬるま湯にひたしたきれいな布でよくふいてください。そのあと乾いた布で、湿り気をよくふきとってください。

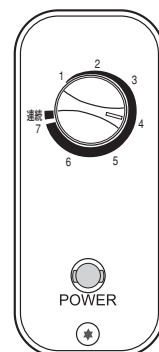
2	電源プラグを専用コンセントにさしこんでください。

しっかり差し込んでください。通電ランプが点灯します。

3	庫内を十分冷やしてください。

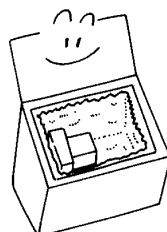
ご使用開始時や霜取り後は庫内温度調整ダイヤルを7にし、4～5時間以上庫内を冷却してから冷凍食品を入れてください。

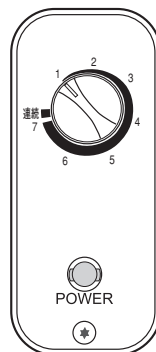
4	庫内温度調節ダイヤルを通常は4にセットしてください。

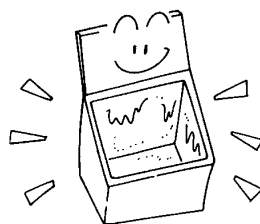
庫内温度調節ダイヤルを回し、ご希望の目盛に合わせます。
通常は4に合わせてください。
数字が小さいと弱冷で、大きくなるにしたがい強冷となります。
※連続の位置にセットするとコンプレッサーは常時ONとなります。長時間の連続運転は、コンプレッサーの寿命を縮めますので、24時間以内に設定を変更してください。

フリーザーの使い方（つづき）―― 霜取りのしかた

●フリーザーに食品を入れて使い始めますと、必ず庫内にあります湿気や水分が庫内に霜となって壁面に付着します。
●庫内に霜がついてもフリーザーは正常に働いておりますので、安心してご使用ください。
●長時間ご使用になりますと壁面に多量の霜がざら目氷のように付着しますので、その時は下記の要領にしたがって霜取りを行ってください。

1 霜取りの時期

●庫内に霜が6〜7mm以上つき、冷凍食品が少ないときを選んでください。

2 ツマミを1の位置に戻してから電源プラグを抜いて運転を止めます。

●ツマミを1の位置に戻してください。
●電源プラグを抜いてコンプレッサーを完全に停止させてください。

3 庫内の冷凍食品を取り出します。

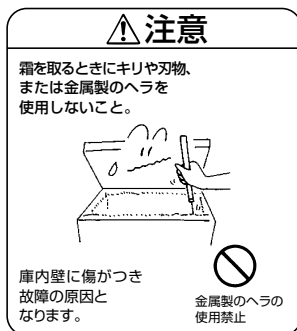
●庫内の冷凍食品を全部取り出して庫内をカラにしてください。
●その際庫外に出した食品は、冷凍冷蔵庫の冷凍室に移したり、新聞紙で厳重に包むなどして、極力解凍を防ぐ手段を施してください。

4 ドアはあけたままに放置しておきます。

●霜が自然にとけてなくなるようにドアはあけたままに1時間以上放置しておきます。

ご注意
霜取中、ドアの後部より水がたれる場合があります。これはドアの内部に一部霜ができ、それがとけるためで、特に異常ではありません。乾いた布でふきとってください。

フリーザーの使い方（つづき）——霜取りのしかた

5 付属のヘラで霜を取り除きます。

●運転停止後、約1時間程度で、霜が浮きあがり取れやすくなります。庫内を傷めないように、付属のヘラで霜を取り除いてください。

6 排水の準備をします。

①市販の容器等を本体左側面にある排水口の下に置いて水を受ける準備をしてください。
②排水キャップをゆるめてください。

7 底にたまった水を排水します。

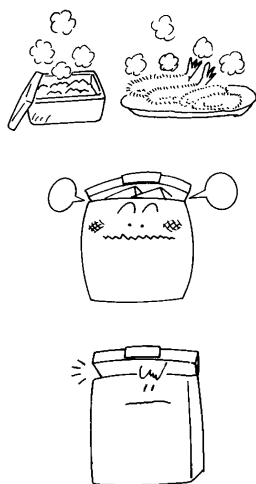
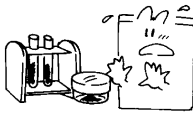
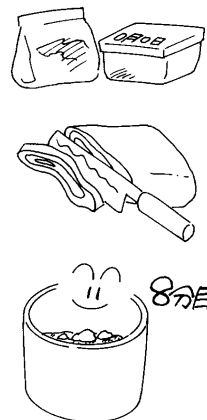
●庫内底にある排水栓をはずし、庫内底にたまった水を排水します。

8 排水が終わりましたら排水栓、排水キャップをつけます。

①庫内やドア内側の水滴をきれいな乾いた布でよくふき取ってください。
②庫内底の排水栓を確実に取りつけてください。
③排水口に排水キャップを取りつけてください。

9 霜取りが終わりましたら8ページの操作のしかたに戻り、ご使用ください。

フリーザーの使い方（つづき）―――食品の保存

●熱いものは、さましてから入れてください。
●ドアの開閉はすばやくしましょう。
●必要以上に冷やさないでください。ダイヤルを急速冷凍にしてお使いになった後、ご用がすみましたら通常の位置（4）にもどしてください。
●食品をつめこみすぎないでください。
●ドアは確実に閉めてください。
●停電のときは、ドアの開閉をできるだけ少なくしてください。夏でも2〜3時間の停電でしたら食品の貯蔵にはほとんど影響ありません。
●冷却器に塩分の強い冷凍食品が直接触れると冷却器がサビたり故障の原因となります。

●食品はポリ袋やラップで包むか密閉容器に入れてください。また食品名や日付も書いておくと便利です。
●食品はうすく、小さく小分けすると凍りやすくなります。
●スープやカレーなどの汁ものは、凍ると膨張しますので容器に8分目程度入れてください。
●新鮮な材料ですと、おいしい冷凍ができます。
●衛生的にもまた味を保つためにも、一度解凍した食品を再冷凍するのはやめてください。

ご注意：一度に大量の食品を入れますと、フリーザー内の温度が上がりアイスクリームなどが一時的に柔らかくなることがあります。

〔1〕保存の際の注意点

（1）庫内へビン類を入れますと、ビンが割れることがありますので絶対に入れないでください。
（2）このフリーザーでは血清、ワクチン等医薬品の保存はできません。又、揮発や引火しやすいものは絶対に庫内に入れないでください。
（3）ドアの開けっ放しや不必要な開閉はしないでください。
（4）食品は必ず、熱をさましてから入れてください。
（5）一度解凍した食品を再冷凍することはおやめください。

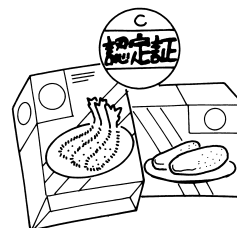
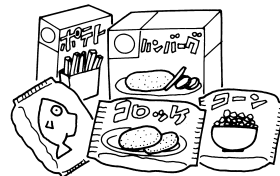
⚠危険	⚠警告	⚠警告	⚠注意
庫内にビン類や缶類を入れないこと	引火しやすいエーテル・ベンジン・アルコール・薬品・LPガスなどは入れないこと	庫内には薬品や学術試料は入れないこと	熱いまま食品を入れないで、食品をさましてから入れること
●中身が凍って割れ、けがをすることがあります。 ビン類禁止	●爆発する危険があります。 貯蔵禁止	●家庭用フリーザーでは、温度管理の厳しいものは保存できません。 貯蔵禁止	食品はさましてから

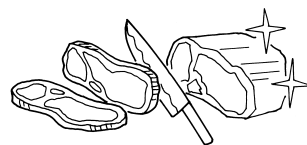
フリーザーの使い方（つづき）――冷凍食品の知識

〔1〕市販冷凍食品の選び方・使い方

市販の冷凍食品は豊富で栄養価はとりたてのまま、調理の手間が短縮でき、腐敗や食中毒の心配がない、と良いことばかりです。もちろん最大の魅力は長持ち（1～3ヵ月）することです。フリーザーに貯蔵さえしておけば、不意のお客様にも、あわてないですみますし、味に一工夫加えれば簡単に素敵な料理ができます。

●品選びのポイント

①ショーケースの温度計がマイナス18℃以下に保たれているものを選びます。
②日本冷凍食品協会の認定証マークのあるものを選びます。
③製造年月日の新しいものを選びます。
④形が整っていて、カチンカチンに冷凍されているものを選びます。
⑤包装紙の破れていないものを選びます。
⑥中の見分けがつかないほど霜のついているものは、再冷凍した場合がありますので避けましょう。

●解凍のポイント

①必要分だけ解凍します。かたまりのものは、小さくくだくか、ノコギリなどで切り、必要分だけ解凍します。
②もどしすぎないこと。まわりが柔らかくなって、シンが凍っている状態が調理に適当です。
③解凍したらすぐに調理をおこないます。
④解凍方法は食品にあった方法で解凍します。

〔2〕ホームフリージングの基礎知識

この冷凍庫は冷凍ストッカーで、市販の冷凍食品を保存することを目的にしています。ホームフリージングを一度に多量に行いますとなかなか冷凍しませんので、ご注意願います。

●凍らせ方の基本

①材料は新鮮なものを。
もどした料理を、おいしく食べるには、新鮮であることが第一です。
②よくさましてから冷凍します。
熱いままいれますと、庫内が温まり、他の食品へ悪い影響を与えます。
③必ず密封します。
食品の変質を防ぐため、包装紙や容器は必ず密封します。又、汁ものは膨張分を見込んで余裕のある容器にいれます。
④1回の使用量分を冷凍します。
家族の人数にあわせて1回分の使用量ごとに冷凍します。
⑤薄くまとめ急速冷凍。
ホームフリージングは、急速冷凍するのがコツです。そのため材料は薄く、平たくするとうまくいきます。
⑥ダイヤルを7にセットします。なおフリージングが完了しましたら、ダイヤルを4に戻してください。
⑦ドアはできるだけ開けないでください。

フリーザーのお手入れ

フリーザーをいつも清潔にご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。安全のため電源プラグを必ず抜いてからお手入れしてください。

〔1〕本体内部

取りはずしの出来る部分は水洗いができます。洗った後は水分をふき取ってから元に戻してください。
汚れの落ちにくい時は、小量の中性洗剤を含ませて、汚れを落としてください。（中性洗剤をお使いになったときは、必ずきれいな布でふき取ってください。）

●やわらかい布でからぶきしてください。

●よごれのひどい場合は食器洗い用洗剤を含ませた布でふいてください。

●食器洗い用洗剤を使用したあとは、必ずきれいな布でふきとってください。

ご注意：みがき粉（クレンザー）、粉石けん、アルカリ性洗剤、タワシ、ベンジン、シンナー、石油、アルコール（エタノール・メチルアルコール）など、酸、熱湯、化学ぞうきんなどは、塗装面やプラスチックを傷めますので使用しないでください。
ご注意：本体に直接水をかけないでください。さび、漏電や故障の原因となります。

〔2〕長期間お使いにならないとき

●必ず電源プラグを抜いてください。

●庫内をきれいに清掃し、ドアを開けたまま2～3日間乾かしてください。

●清掃しないとかびがはえたり、においがこもったりします。

フリーザーの自己診断方法

まず自分で確かめてみましょう

〔1〕全く冷えない

●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。
●停電ではありませんか。
●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。

〔2〕よく冷えない

●食品を詰めすぎていませんか。
●冷却器に霜がつきすぎていませんか。
●ドアは確実に閉まっていますか。
●据えつけ状態は適正ですか。
●ドアの開閉がひんぱんではありませんか。
●庫内温度調節ダイヤルのセットは適正ですか。

〔3〕音がうるさい

●床はしっかりしていますか。
●背面が壁にあたっていたり、周囲にお盆や容器などが落ちていませんか。

〔4〕フリーザーの外部に露がつく

●梅雨どきなど特に湿度が高いときドア回りに霜がつくことがあります。これはコップに冷水をいれたときまわりに水滴がつくのと同じで異常ではありません。露がついたときは、乾いた布でふきとってください。

愛情点検

●ご使用のフリーザーの点検を！

こんな症状はありませんか?	●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●電源コードに深いキズや変形がある。 ●焦げくさい臭いがする。 ●ピリピリと電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	▷	お願い	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

このフリーザーの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後9年です。

保証とアフターサービスについて（必ずお読みください）

お買い上げいただきましたノーフロスト電気冷凍庫の保証書は本取扱説明書の裏表紙にあります。
本「取扱説明書」はアフターサービス等において重要な書類ですので大切に保管ください。

修理を依頼されるとき

本ページ「フリーザーの自己診断方法」に従って調べていただき、直らないときには電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。修理は専門の技術が必要です。なお、食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。
●保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が出張修理をさせていただきます。お買い上げの販売店へご依頼にならない場合には、当社にご連絡ください。
お買い上げの販売店または当社へつぎの点をお申し出ください。
⑴　お客様の住所、お名前、電話番号。
⑵　フリーザーの型式。
⑶　故障の内容。
本「取扱説明書」の中に記載されている「フリーザーの自己診断方法」を参照してサービスマンからの質問にお答えください。
サービスマンがお伺いしましたときは、本「保証書」をご提示ください。

廃棄時にご注意願います。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷凍庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ノーフロスト・チェストフリーザー保証書 出張修理

型　式			
お買い上げ 年　月　日	年　　月　　日	保証期間 （お買い上げ日より）	本体　1年 冷媒サイクル系　3年
お　客　様 ご　住　所	□□□-□□□□　TEL（　　）　―		
（フリガナ） お　名　前	様		
販売店　店　名 住　所	TEL（　　）　―　印		

●この保証書は本書に明示した期間、下記の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明な場合には、お買上げの販売店または下記に記載してある本社および大阪支店にお問い合わせください。

●お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

(1) 万一、保証期間内に正常な使用状態で、材料あるいは製造上に起因する故障が発生した場合には、お買上げいただいた日から1年間は無料修理いたします。
ただし、圧縮機（コンプレッサー）、凝縮器（コンデンサー）、蒸発器（エバボレーター）および配管など冷媒サイクル系は3年間とします。
なお、蒸発器（エバボレーター）はアルミで作られていますので、食塩などを直接食品にかけて貯蔵しますと化学反応でアルミが腐食します。この場合は保証を除外させていただきます。又、この冷凍庫は一般家庭用のため、食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

(2) 無料修理は、お買上げの販売店または下記に記載してある本社および大阪支店にご依頼ください。
また、無料修理をお受けになる際は、必ず本書をご提示ください。

(3) 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

(4) 次の様な場合には、保証期間中であっても有料修理となります。
(イ) 誤った使用方法あるいは取扱い上の不注意による故障や損傷。
(ロ) 不当な修理や改造によって生じた故障や損傷。
(ハ) お買上げ後の輸送、落下等による故障や損傷。
(ニ) 地震、火災、風水害、公害その他の天災地変、異常電圧等によって生じた故障や損傷。
(ホ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輌や船舶への搭載）に使用した場合の故障及び損傷。
(ヘ) 本書の提示がない場合。
(ト) お買上げ年月日、お客様名、販売店名等で記入が必要と定めた事項の記入がない場合、又は字句が書き替えられた場合。

(5) 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid in Japan.

(6) 修理内容の記載欄は、修理伝票等の発行をもって代替させて頂きます。

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

本　　社　〒103-0013　東京都中央区日本橋人形町1-14-8　TT-1ビルディング11F
TEL（03）5643-1331（代）　FAX（03）5643-1335

大阪支店　〒542-0081　大阪府大阪市中央区南船場1-16-10　大阪岡本ビル6F
TEL（06）6125-2620（代）　FAX（06）6125-2607

ホームページアドレス　http://www.jgap.co.jp

PUB.NO.21U1001